

# Artificial Intelligence



R-18

# Artificial Intelligence

-introduction-

こんばんわ紳士のみなさま、はじめましての人も多いので  
名乗っておきます。

いたるです。変態という名の紳士です。

このたびシヨタコミで出そう出そうと思っていた本が  
完成にこぎつけられました。

仕事やりながらってきついですね。

でもレンきゅんに対する愛は負けないつもりです。

でもエロは今回そんなにないです。

もっと濃厚なエロを勉強しておくんだった。

次回はもっと農耕にちゅっちゅべろべろを書きます。

またそちらも機会があれば。

ようやく自分の個人でエロが出せて

これで憧れの得ろ同人作家になれたわけですね。

これでさらに皆様の夜のお供になれば幸いです。

お話は近未来で、ロボットが人間そっくり・意志を持つ  
そのロボットとの物語です。

これだけ書くと映画みたいですが

要はレンきゅんとニャンニャンしたい。

それだけです

ええ、それだけです！！

変態の何が悪い！！

ということで本編をお楽しみください！

LKL！

7月ぎりぎりな日 いたる

あなたの生活に潤いを！  
歌うロボット  
ボーカロイドシリーズ  
標準機能と高い汎用性  
をもって新発売！



あれなあに？  
普通のロボットみたい  
だけど？



あれは歌うために  
人工知能をかなり  
強化してるんだ。  
思考とか人間  
そのものだよ。

えー、人間そのもの？  
それじゃあもてない人が  
彼女代わりに勝って  
いったりとか？



結構あるらしいぜ、  
下の世話とかさせてる  
やつもいれば結婚  
とかするやつも。

(1)

ますます人間様が  
いらない世の中  
になっていくわね。



(2)



# Artificial Intelligence



いたる -itaru-











それから時折  
こんなことをしている  
作られた目的を  
果たせずに・・・



頑張ったね、レン  
またやろうね・・・



マスター・・・  
ぼく・・・ぼく・・・



オレあまり曲とか  
きかないしなあ・・・

僕は知っている・・・  
こんな不毛な  
関係はすぐに  
壊れてしまうことを・・・



え、なに？  
好きな歌はあるかって？

本来の目的とは  
違う今の自分の  
役割：一方的な  
気持ちの強要：

マスター、ちゃんと  
財布もちましたか？

数カ月後、僕は  
この生き方で順応  
していつていた

あんまり飲み歩かないで  
くださいね。家計に響いて  
来ますから。

大丈夫だよ。いつも  
ありがとね。

次第にマスターは  
僕を大事にしてく  
れるようになった  
けど消えた婚約者  
が僕は気がかりだった

そうだ、レン  
今夜なんだけど  
頼みがあるんだ

なんですか、唐突に。  
何か用事は早めに  
いつていただけないと……

今日は婚約してた  
彼女が突然連絡くれたんだ  
彼女が帰るまで  
隠れていてほしいんだ

婚約者との関係が  
修復されれば僕は  
不要となる……  
突然存在の機器が  
訪れた。

突然ごめんなさいね。仕事が  
忙しくて連絡取れなかった  
のよ…本当にごめんなさい。

いや、気にしないで

婚約した同士じゃないか。  
でも連絡ぐらいほしかったなあ。

ふーん……

きれいじゃない。さては私のいない  
間に別の女の子をつくったとか  
ロボットを買ったの？

なにいつてるんだ！  
オレだってやるときは  
やるよ！

それ僕！

僕が毎日やって  
るんです

あなた、かわったわね。  
人間らしくなったというか。

昔はどこかやさしさが  
ないような感じでね。

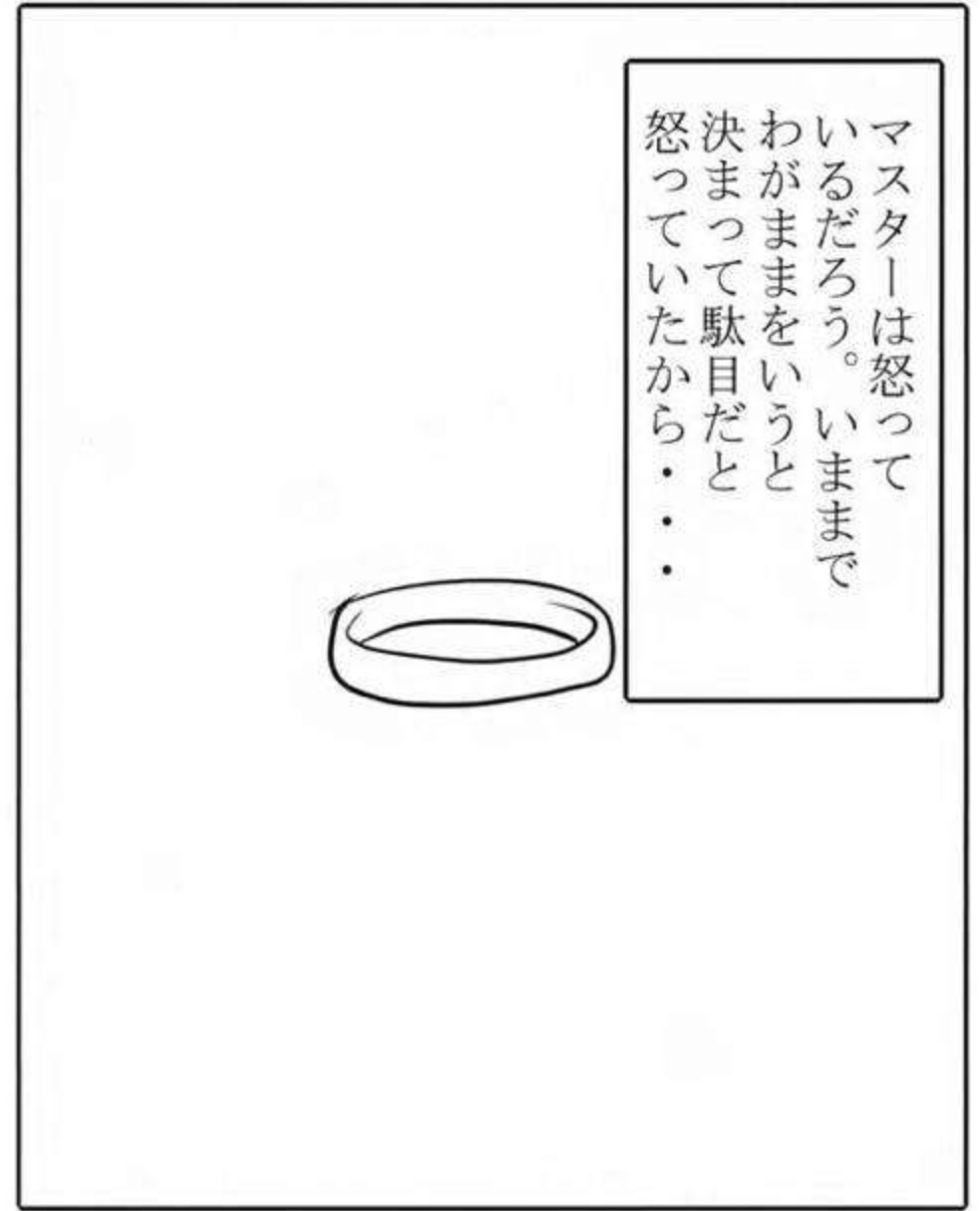
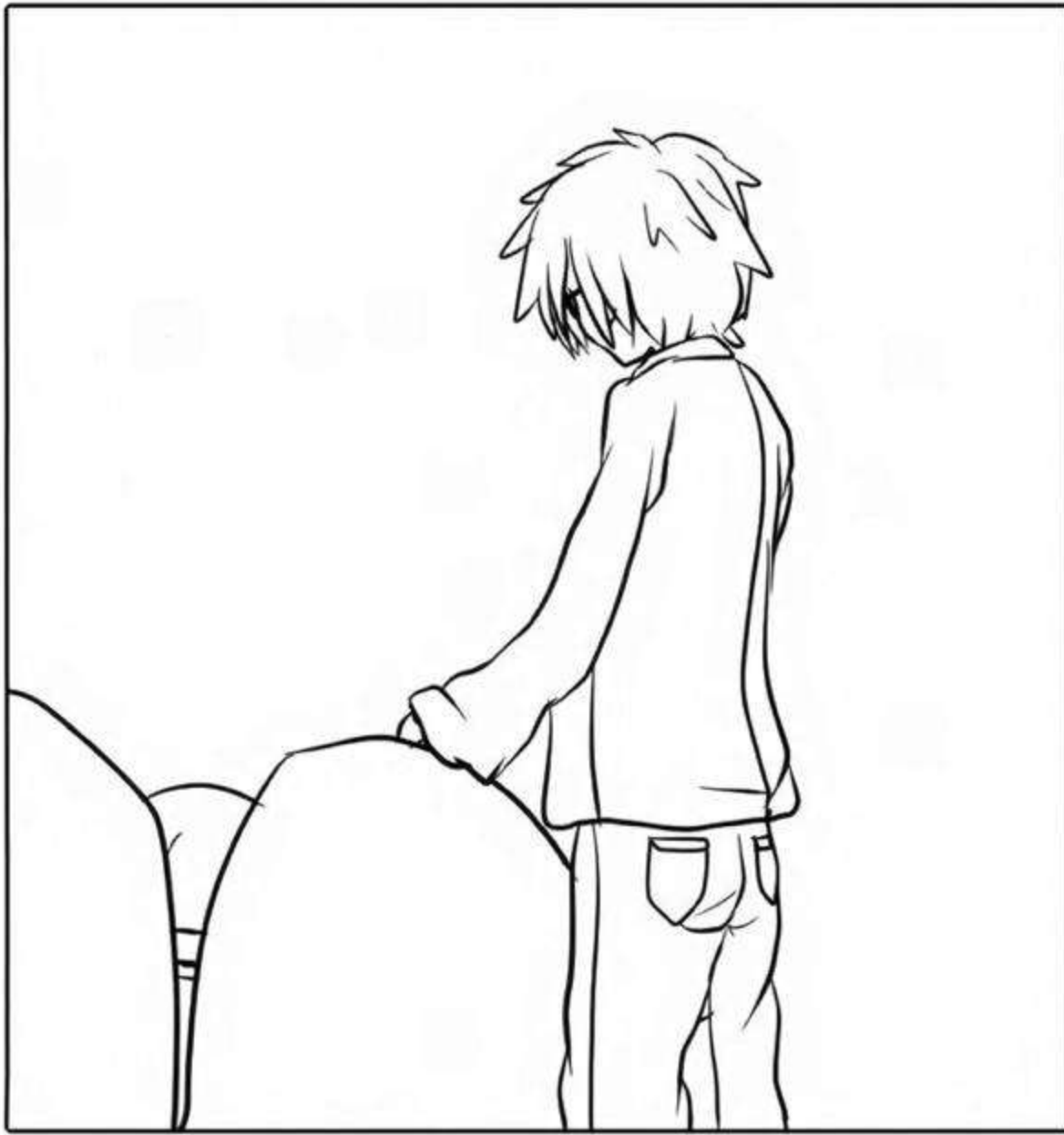
オレも、そのことで  
君に大事な話が…

そろそろお互い結婚に  
ついて話し合いましょう。  
今なら本音で色々話せそうだわ。

だ、だめです！

話が未を結びそうに  
なり僕は僕の  
この後の未来を想像  
してしまった。

マスターに捨てられる  
と思ったら。  
気づいたら涙を  
流して二人に姿を  
さらしていた






いままでマスターとすごした  
日々は何だったのだろう。  
使われるだけ使われて  
捨てられるだけの存在…




工場で生まれた  
おもちゃにいくあて  
などもちろんなかった。






このまま終焉を迎えても  
くいの無いようにかれた  
声で思う存分に  
歌った。歌って歌った。




気づいたら歌を  
口ずさんでいた。  
いままで出来なかった  
思い通りに歌うこと



声もかれてかすれて  
喉が痛んでもずっと  
歌い続けた。

このまま機能停止  
できたら本望だと思って  
た…でも、本当は誰かの  
ために歌いたかった。



ふと急に背中の  
ぬくもりではっとした。  
最初はなんだか  
わからなかった…



レン...探したぞ。  
こんなところにいるのか...



マスターすみません  
でした。せつかくの  
ディナーを台無しに



もしご結婚されるの  
でしたら僕のこととは...



レン!



!!





あいつはほかで男を  
作ってた…婚約破棄だ



ずっと考えていたんだ  
レン…

指輪は買いなあす。  
だから…



オレのそばにいて  
くれないかな？



あつ！  
あの、マスター  
ぼく……オフロまだ……



毎日トレーニング……

レンの顔を見るのは  
恥ずかしいな……



マスター……  
僕ボーカロイドですよ……  
考え直すなら



よく考えた  
結果だよ……

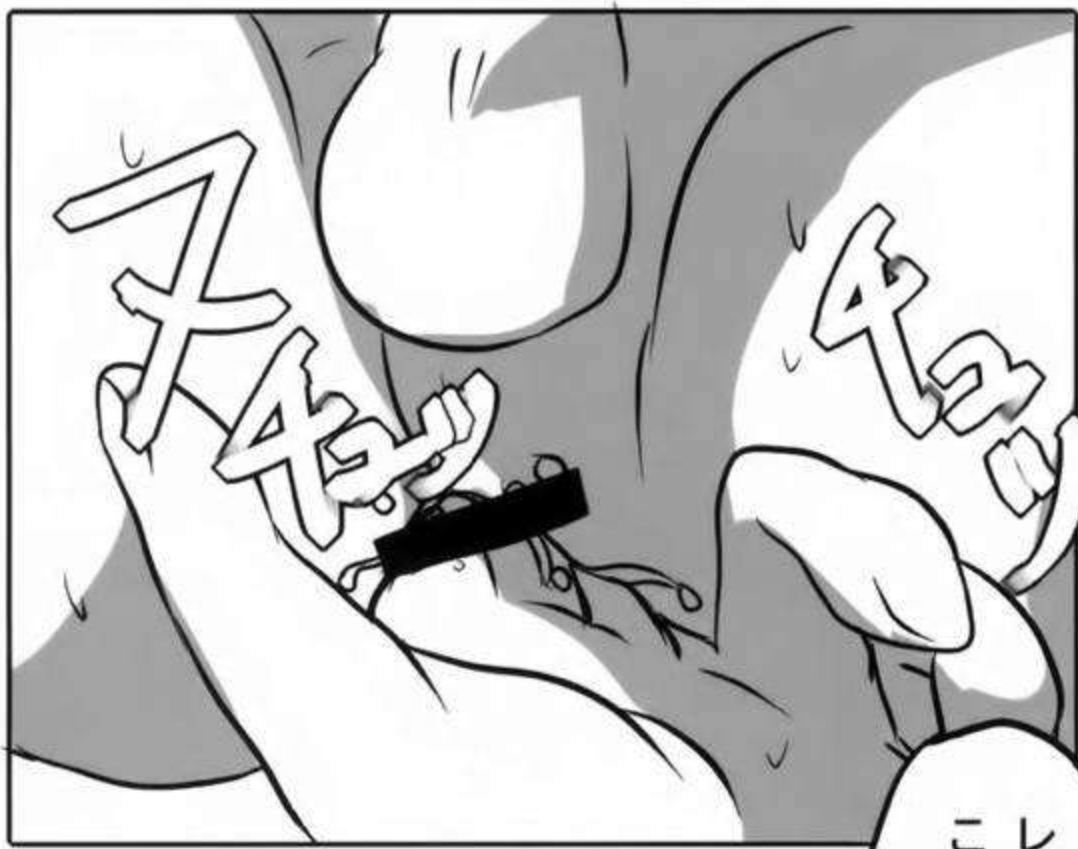


あ……ああ……

いつもは少ししてからすぐに  
挿入だった……  
でもこうして互いのものを  
握っていると……

次第に  
感覚に思考が支配  
されていく……





レン、もう二回が  
こんなになっているぞ



んん！



あ、ああ！  
マスター……



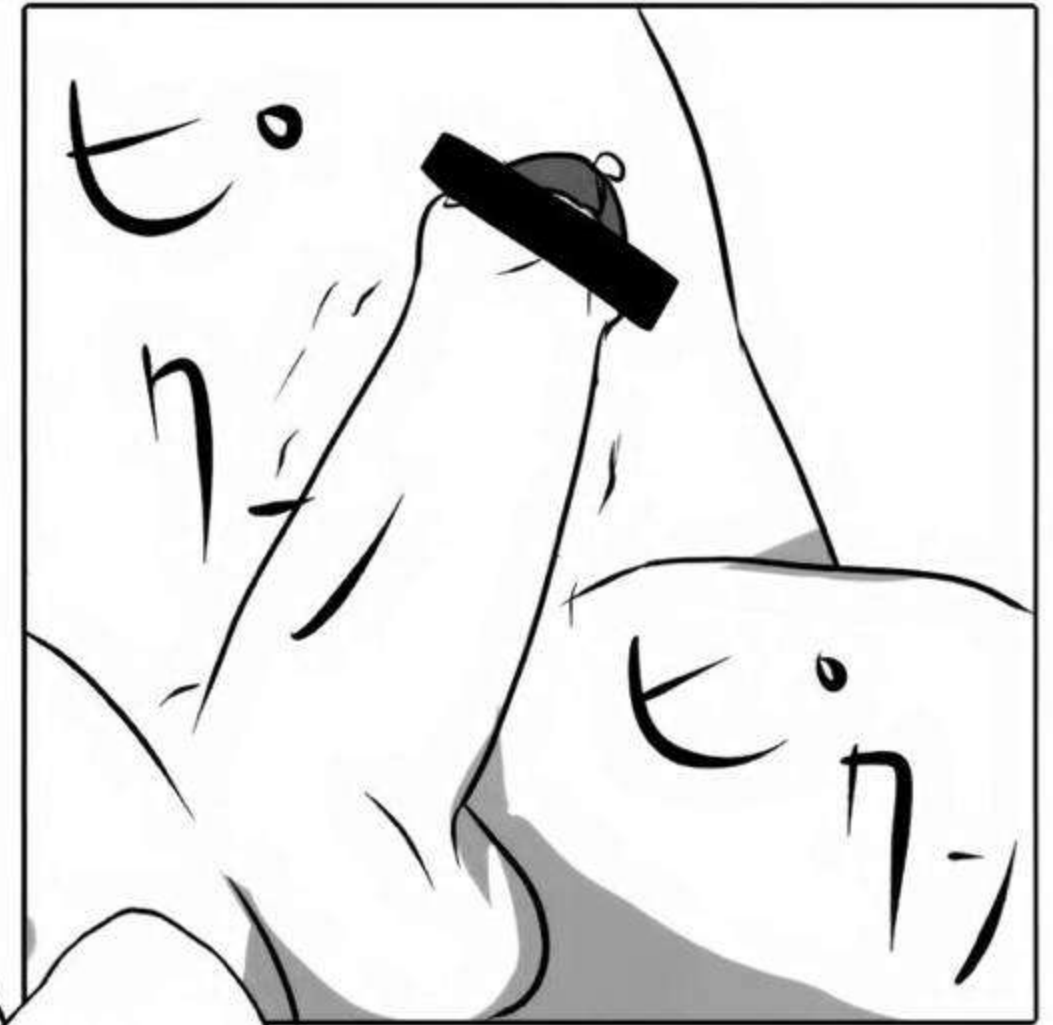
やあ！マスター！  
はげしいよ！

すっちや……  
すっちやだあ！

なにいつてるんだ、こんなにならなく汁をたらして……



ああ、マスター……  
ゆっくり、ゆっくり  
おねがい……します……



そろそろ  
いいかな？



一気にやられたら僕……  
僕……おかしくなっちゃおう……

マスター……あつ……  
奥……奥にあたってます。

ほら、レン  
どうだい？

ああ……  
いっしょです……

レンは本当に「こ」を  
つつかれると弱いんだね。  
奥がひくひくいってるぞ。

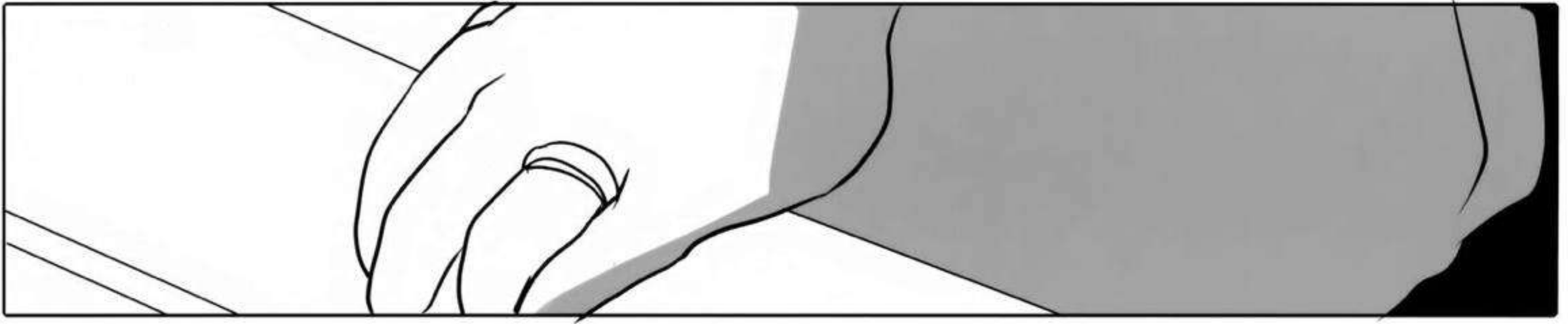
マスター……僕……うれしいです。  
体だけじゃなくて気持ちも  
ひとつになれて……

そうか、そろそろ  
いくぞレン



この関係も  
きっといつかは  
壊れるだろう……





でもその問題は  
また今度考えよう。





-afterword-

ここまで読んでいただきありがとうございました。  
これであなたの夜を彩れば最高です。

彼らはこの後は喧嘩しながらも暮らしていきます。  
でも未来ではそんなこと日常茶飯事におきているはずだと

思います。自立したAIを持ったロボとの関係。

オレも早くレンきゅんがほしいです。  
レンきゅんが家にきたらまず先にエプロンを着せます。  
普通のやつ。

それでご飯作ってもらって夜はところてんにしたいと思います。

ぼとぼちと作業してようやく完成したこの本が  
副菜としてお役に立てればと思います。

LKL!

-clophon-

著者 いたる estrela marca  
日時 2010 07 19 THE VOC@LOiD M@STER 13にて  
背景素材 「ケムケム工房」様

印刷所 栄光

連絡先 flarecrestmatu@msn.com

PIXIV ID:7894

無いと思いますが、無断転載・ネットへのアップロードは硬くお断りします。  
恥ずかしいので・・・



estrela marca

2010 7 19

Artificial Intelligence

R-18